

再評価結果(令和7年度事業継続箇所)

担当課:道路局 国道・技術課

担当課長名:西川 昌宏

事業名	空港・港湾等アクセス 一般国道245号 日立港区北拡幅			事業区分	一般国道	事業主体	茨城県
起終点	自：茨城県日立市久慈町 至：茨城県日立市水木町					延長	1.9km
事業概要							
一般国道 245 号は、水戸市から日立市に至る幹線道路であり、産業・観光の両面において、地域振興を支える重要な路線である。 本事業は、日立市内の区間について、一部を除いて2車線となっており、朝夕の通勤時間帯を中心に交通渋滞が発生しているため、渋滞の解消を図るとともに、茨城港日立港区、常陸那珂港区の物流機能強化を図ることを目的とし、日立市久慈町から水木町までの約1.9km区間について、4車線化整備事業を行うものである。							
H27年度事業化		H26年度都市計画決定		H29年度用地着手		H30年度工事着手	
全体事業費		約67億円		事業進捗率		約81% 供用済延長 — km	
計画交通量		25,600台／日					
費用対効果分析	B/C	EIRR	総費用		総便益		基準年
	(事業全体)	(事業全体)	(残事業)/(事業全体)		(残事業)/(事業全体)		
	1.3		23/73 億円		97/97 億円		
	(参考) 2.1 [2%]	5.4%	事業費： 21/71 億円		走行時間短縮便益： 114/114 億円		
	2.6 [1%]		維持管理費： 1.7/1.7 億円		走行経費減少便益： -17/-17 億円		
	(残事業)	(残事業)	更新費： -/- 億円		交通事故減少便益： 0.59/0.59 億円		
	4.3		感度分析 (事業全体)		(残事業)		
	(参考) 5.3 [2%]	18.5%	交通量 B/C=1.2～1.5(±10%)		交通量 B/C=3.9～4.7(±10%)		
6.8 [1%]		事業費 B/C=1.2～1.5(±10%)		事業費 B/C=3.9～4.7(±10%)			
		事業期間 B/C=1.3～1.4(±20%)		事業期間 B/C=4.1～4.4(±20%)			
事業の効果等							
・重要物流道路として、茨城港日立港区及び常陸那珂港区のアクセス向上、周辺向上における物流効率化による安定的な輸送が図られる。 ・緊急輸送道路ネットワーク機能の強化が図られる。							
関係する地方公共団体等の意見							
沿線自治体で構成される「日立都市圏幹線道路整備促進期成会」から、本事業の早期完成の要望活動が行われている。							
事業評価監視委員会の意見							
事業継続を妥当と認める。							

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 周辺環境等に特に変化はない。	
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地進捗率約60%、事業進捗率約81%	
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 残る用地の取得を継続しており、今後は早期完了を目指し、道路改良工事を推進していく。	
施設の構造や工法の変更等 道路改良工事における建設発生土の工事間流用により、コスト縮減を図る。	
対応方針	事業継続
対応方針決定の理由 事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。	
事業概要図	
	

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。([]内は社会的割引率の値)